

武漢事務所週刊ニュース (2017.2.11-2017.2.17)

2017年2月12日

漢南区で路面電車の路線を建設する予定

昨日、武漢経済技術開発区(漢南区)は、漢南区で全長約 8.5 キロメートルの路面電車の路線の建設計画を発表した。投資予算は 13 億元、10 月に着工する予定である。

この路線は漢南烏金路から港物流園までを結び、地下鉄 16 号線と同時に施工し、2019 年の後半期に開通する見通しである。路面電車路線完成後は、地下鉄 16 号線と馬影河駅で接続する予定である。

2017年2月16日

湖北省で初めての日系企業産業園が孝感市に設立

このたび、湖北省商務庁は湖北日系企業産業園(孝感市)の設立について正式に承認した。これは湖北省が設立する初めての日系企業産業園である。

近年来、孝感市は、効率よく産業移転を受けるよう、日系企業をめぐり、大企業かつ強力な誘致を行っており、車部品、光電子情報などの産業が目覚ましい発展を遂げている。これまで、世界トップ 500 社の中の 1 社である矢崎自動車電子ハーネス、グローバル自動車照明器業界でランキングトップの小糸、及び中央スプリング、友成金型、テイエステック、鈴与国際、南部化成、東洋佳嘉など多数の日系企業が相次ぎ孝感ハイテク区で創業し、同区の外資系企業総数の 60%以上を占め、既にチェーン式の発展態勢となっている。

14 日に、グローバル電子サービス業界でランキング 14 位の日本シークス電子プロジェクトは、ハイテク区で正式に着工し、湖北(孝感)日系企業産業園に設立する 23 社目の日系企業となった。「孝感で創業した矢崎の速さ、小糸の速さは既に日系企業の中で独特な孝感ブランドとなり、企業にやさしい孝感の雰囲気は我々にとって安心して投資をすることができる」と湖北シークス自動車電子会社の取締役の貞野昌則氏は言った。